

令和 7 年 6 月 12 日
都市局国際・デジタル政策課

「都市におけるイノベーション創発のあり方に関する検討会」(第1回)の開催 ～都市政策の観点を踏まえたイノベーション創発のあり方を議論します～

諸外国において都市におけるイノベーション創発を行う「イノベーション地区」の形成が進められるなか、イノベーションと都市、距離などとの関係性を明らかにしつつ、我が国にふさわしい都市のあり方を議論するため、「都市におけるイノベーション創発のあり方に関する検討会」を設置し、第1回検討会を開催します。

1. 日 時：令和7年6月17日（火）13：45～16：00
2. 場 所：中央合同庁舎3号館6階都市局局議室
（東京都千代田区霞が関2－1－3）
3. 議題（予定）：
 - ・ まちづくりにおいて考慮・目指すべき「イノベーション」のあり方
 - ・ 都市におけるイノベーション集積の現状と海外・国内事例 他
4. 委 員：別紙のとおり
5. その他：
 - ・ 会場でのみの開催となります。
 - ・ 取材については、報道機関に限り傍聴・カメラ撮り可とし、一般傍聴は予定しておりません。 ※第2回以降の取扱いについては変更する可能性があります
 - ・ 取材を希望される方は6月16日（月）12時までに、以下の通りメールにてご連絡ください。
 - ① 件名：「取材希望 都市におけるイノベーション創発のあり方に関する検討会」
 - ② 本文：氏名（ふりがな）、所属、連絡先（電話番号・メールアドレス）
 - ③ 送付先：sengoku-t2br[at]mlit.go.jp ※[at]を@（半角）に変更ください
 - ・ 取材は各社1名に限定させていただきます。なお、会場の都合等により取材を制限させていただく場合がございます。
 - ・ 検討会資料及び議事概要は、会合終了後、国土交通省ホームページに掲載します。

＜問合せ先＞

都市局 国際・デジタル政策課 仙石、坂本

TEL：03-5253-8111（内線 32236、32216）、03-5253-8422（直通）

都市におけるイノベーション創発のあり方に関する検討会委員名簿
(五十音順、敬称略)

岡本	千草	中央大学経済学部 助教
小野	悠	豊橋技術科学大学建築・都市システム学系 准教授
遠山	亮子	中央大学大学院戦略経営研究科（ビジネススクール）教授
長根	裕美	千葉大学大学院社会科学研究院 教授
長谷川	大輔	東京大学大学院工学系研究科 特任講師
二見	崇史	AN Venture Partners LP パートナー
柳川	範之	東京大学大学院経済学研究科 教授
山村	崇	東京都立大学都市環境学部 准教授
渡	和由	法政大学デザイン工学研究科 建築学専攻 兼任講師

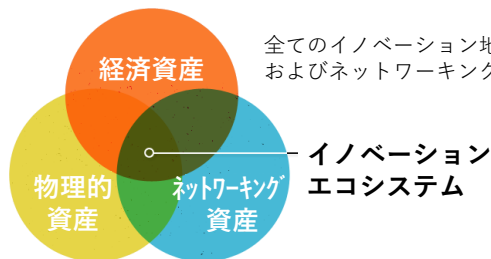
本検討会の設置の趣旨

- 諸外国では都市部においてイノベーションを創発する「イノベーション地区」の形成が進められるなか、我が国においても国際競争力確保や地方創生の観点から、イノベーション創発を促すまちづくりの重要性が高まっている。
- 都市局「都市の個性の確立と質や価値の向上に関する懇談会」中間取りまとめ『成熟社会の共感都市再生ビジョン』（令和7年5月）においても、業務機能をはじめ多様な機能の集積による稼ぐ力の創出に向けて、「都市におけるイノベーション創発のあり方」が「検討を加速する事項」として位置づけられたところ。

海外におけるイノベーション地区形成の進展

「イノベーション地区」の興隆（米ブルッキングス研究所）

- ・空間的に孤立した車アクセス中心の企業キャンパスに対して、「イノベーション地区」と呼ばれる新しい都市モデルが出現
- ・これらの地区においては、以下の特徴があるとされる
 - 最先端のアンカー機関や新興企業、ビジネスインキュベーター等が地理的にまとまって立地している
 - 物理的にコンパクトで交通機関にアクセスできるほか、住宅、オフィス、小売店等の混合用途となっている



少なくとも全世界で72箇所のイノベーション地区があるとされるなど、米国のみならず、欧州、南米、豪州などで展開

（出典）

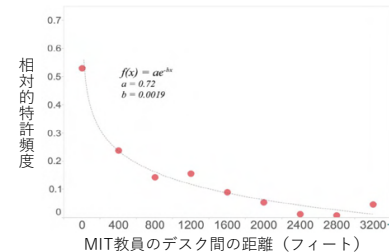
Bruce Katz and Julie Wagner (2014) "The Rise of Innovation Districts: A New Geography of Innovation in America"
Global Institute of Innovation District (GIID)(2019) "The Evolution of Innovation District"

イノベーション創発と距離・場所の関係性

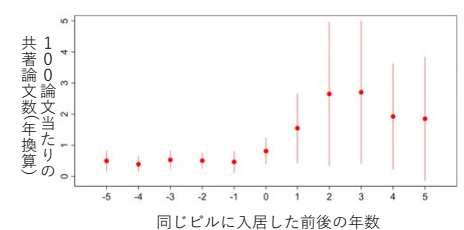
人同士が近接することによるイノベーション創発の効果

- ・イノベーションには「偶然の出会い」が重要な役割を果たしているとされるなかで、物理的な近さや「偶然出会う場」としての都市の役割が注目されている
- ・研究者同士の近接によって特許取得や共同論文の件数が増加するとの研究結果が存在（下図）

研究者間の距離と特許数の関係性



研究者間の距離の動的影響



（出典）

Claudel, Massaro, (2016) "An exploration of collaborative scientific production at MIT through spatial organization and institutional affiliation"

Miranda, A. S., and Claudel, M. (2021) "Spatial proximity matters: A study on collaboration"

我が国にふさわしい都市におけるイノベーション創発のあり方について議論するとともに、支援制度等の構築に向けて検討

都市におけるイノベーション創発のあり方に関する検討会(検討体制)

<有識者> (五十音順、敬称略)

- 岡本 千草 中央大学経済学部 助教 (都市経済学)
- 小野 悠 豊橋技術科学大学建築・都市システム学系 准教授 (都市計画) ※
- 遠山 亮子 中央大学大学院戦略経営研究科 教授 (イノベーションマネジメント)
- 長根 裕美 千葉大学大学院社会科学研究院 教授 (イノベーション経済学)
- 長谷川 大輔 東京大学大学院工学系研究科 特任講師 (地理情報システム)
- 二見 崇史 AN Venture Partners, LP パートナー (創薬・ベンチャー) ※
- 柳川 範之 東京大学大学院経済学研究科 教授 (経済政策)
- 山村 崇 東京都立大学都市環境学部 准教授 (建築・景観)
- 渡 和由 法政大学デザイン工学研究科 兼任講師 (ウォーカブル・プレイスメイキング)

※内閣府総合科学技術・イノベーション会議 基本計画専門調査会 委員

<事務方・オブザーバー>

- 事務局
 - ・都市局 国際・デジタル政策課
- オブザーバー
 - ・内閣府 (科技・イノベ)
 - ・内閣府 (地創)
 - ・文科省
 - ・経産省
 - ・厚労省
 - ・経団連 都市住宅委員会 企画部会 委員
 - ・日本商工会議所
 - ・不動産協会
 - ・UR都市機構
 - ・自治体 (岡崎市、京都市、長岡市)

<主な審議事項>

- ・都市における「イノベーション創発」のあり方、距離とイノベーションの関係性
 - ・海外比較等を通じた我が国における産業振興・イノベーション創発のあり方 (大学・医療機関・研究所・企業との連携方策とアメニティを含む市街地のあり方を含む)
 - ・現場ニーズを踏まえた国・自治体の支援策のあり方
 - ・データを活用した分析手法のあり方
- 等



「都市における業務施設・集客施設の立地のあり方に関する分析・検討WG」と連携



<出口イメージ>

- ・都市におけるイノベーション創発のあり方についてのガイダンス
 - ・都市におけるイノベーション創発に向けた支援制度の構築
- 等

⇒ 令和7年6月17日第1回以降、年度内4回程度に渡り議論

海外におけるイノベーション地区の形成事例

ケンドール・スクエア (米国)



- ボストンのダウンタウンとMITおよびハーバード大学のキャンパス近くにありながら、1980年代まで数棟のビルがあるだけであった。
- 2000年代より、地区内で様々な都市再生プロジェクトが実施され、医療・バイオテクノロジーなど世界的に重要なイノベーションハブとして再生した。
- スタートアップが非常に集中するとともに、ウォークブルな地区を形成し、バー、カフェ、レストランなどのアメニティも充実している。



写真引用元: ケンドールスクエア協会、ブルッキングス研究所ウェブサイト

ピッツバーグ・イノベーション地区 (米国)



- かつては鉄鋼都市として栄え、その後衰退していたピッツバーグ市では、カーネギーメロン大学とピッツバーグ大学に挟まれたオークランド地区において、医療やロボティクスといった両機関の強みを活用し、ラボ・オフィスの運営やスタートアップの創発などによりイノベーションコミュニティを形成。
- 特に科学、ロボット工学、老年学、集中治療、人工知能、細胞組織工学などの研究が進む。
- 働き・暮らし・遊ぶ（Work-Live-Play）を標榜し、都市中心部における美術館を含めた芸術、文化、食、緑豊かな空間の集積を活かしつつ、公共空間の充実も図っている。



写真引用元: ピッツバーグ・イノベーション地区ウェブサイト / LinkedIn